

保護者 様

## 令和元年度 全国学力・学習状況調査の

## 結果・課題・改善について

和木町立和木小学校

本年4月18日(火)に第6学年が実施した「全国学力・学習状況調査」(本年度は「国語」と「算数」で、A問題、B問題の区別がなくなりました。)の結果について、子どもたちの学習意欲・学習環境・生活習慣のアンケート結果とあわせて多面的な分析をしてみました。

ここに、結果・課題・改善等についてお知らせいたします。

なお、調査結果については、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえて分析しております。

今後は、調査結果の分析を日々の授業に適切に反映させ、学習指導等の改善に向けて計画的に取り組んでまいります。その際には、調査対象の学年や教科だけでなく、全学年、全教科等を対象として、学校の教育活動全体に渡って、課題の克服と指導の改善に向けた取り組みを行います。

## 1 結果の概要及び課題

国語	<p>○全国平均を上回っている。山口県平均は下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことはできる。</li> <li>・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして、まとめて書くことに課題がある。</li> <li>・情報を相手に分かりやすく伝えるための、記述の工夫に課題がある。</li> </ul>
算数	<p>▲全国平均・山口県平均を下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な多角形の特徴について理解している。</li> <li>・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。</li> <li>・読み取った数や、示された計算の仕方を解釈し、問題文と関連付けて、意味や理由を記述することに課題がある。</li> <li>・加法や減法、乗法や除法の計算をすることはできているが、特に除法の式の意味の理解に課題がある。</li> <li>・資料の特徴や傾向を関連付けて、単位量あたりの増減を判断し表現することに課題がある。</li> </ul>
質問紙(児童アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ほとんどの児童が、「早寝早起き朝ごはん」の基本的な生活習慣ができており、よい傾向にある。</li> <li>○「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた児童は、約81%である。(全国：68%)</li> <li>○「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」について、約89%の児童が「当てはまる」と答えている。(全国：79%)</li> <li>●「自分には、よいところがある」について、約20%の児童しか「当てはまる」と回答していない。(全国：39%)</li> <li>●「学校のきまりを守っていますか」について、「当てはまる」と回答した児童は、約38%であった。(全国：47%)</li> <li>●「読書が好き」について、約25%の児童が「当てはまる」と回答している。(全国：44%)</li> </ul>

## 2 今後の改善について

### < 国 語 >

- 引き続き、漢字の読み書き（特に同音異義語）、敬語等、言葉の理解と定着をめざして指導を継続します。
- 教科書の教材文以外の文章の読み取りにも取り組ませるようにします。読書や新聞を読むことを勧め、文章を読む機会を増やしていきます。
- 条件設定（〇〇字以内、〇〇という言葉を入れて、〇〇と比べて等）した文章を書く機会を多く設けたいと思います。

### < 算 数 >

- 各学年で必ずマスターしなければならないことを明確にし、確実な定着をめざします。
  - （1年）繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算
  - （2年）九九 （3年）かけ算の筆算 （4年）わり算の筆算
  - （5年）小数の四則計算 （6年）小数・分数の四則計算
- 反復・継続学習や家庭学習の充実により、計算力の確実な定着を図っていきます。
- 言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、表現したりする力の育成を重視した授業を展開していきます。

### < 教科等全般について >

- 引き続き、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、それらを活用することができる力の育成をめざして授業改善を図っていきます。
- 毎時間、学習のめあてをはっきりさせ、ICTを積極的に活用し、「わかる」「できる」喜びを実感できるような授業づくりに努めます。
- 「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能については、体験的な理解や繰り返し学習を重視していきます。
- ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、学び合う授業づくりに努めるとともに、伝え合う力の育成をめざします。
- 自ら学習をふり返り、ノートにまとめる機会を取り入れていきます。
- 学習内容が確実に定着できるよう練習する時間を設けたり、学んだことを使ってみる場を設けたりします。
- 朝の学習（漢字・計算）や補充学習等をより充実させるとともに、読書活動に積極的に取り組ませまていきます。
- 家庭と連携し、和木町教育委員会作成の「家庭学習の手引き」を参考に、家庭学習の習慣化を進めていきます。
- 体験学習やキャリア教育などを通じて、学ぶ意義を認識できるような授業を工夫します。

### < 生活全般について >

- キャリア教育の充実を図り、人とのかかわりや社会の一員であることへの意識をもたせ、自分に自信が持てる取り組みを進めていきます。
- 児童の社会性や豊かな人間性を育むために、家庭や地域とも連携し、体験活動の充実を図っていきます。
- 道徳科の時間では、互いのよさを見つめ合う場を設定し、自己の在り方をじっくり考えさせ、自己肯定感や向上心を育てていきます。
- 家庭との連携を密にし、家庭での学習習慣や望ましい生活習慣・食習慣等の形成を図っていきます。